

事業評価調書

◎基本情報

年度		令和5年度	会計コード		10	一般会計		事業コード		21631				
事業名		(公社)札幌市シルバー人材センター運営補助金												
評価担当課		所 属		経)産業振興部 雇用労働課				電話番号		011-211-2278				
施策名		多様な人材が自身の持つ能力を発揮し、誰もがやりがいや充実感を												
アクションプラン		● 対象 ○ 対象外												
事業の性質		○ 経常経費 ● 臨時的経費				○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費								
		○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助・助成 ○ その他												
事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)		高年齢者等の雇用の安定等に関する法律(昭和46年法律第68号)第36条の規定に基づき、国及び地方公共団体は定年退職者その他の高年齢退職者の職業生活の充実その他福祉の増進に資するため、臨時的かつ短期的な就業または軽易な業務に係る就業を希望するこれらの者について、就業に関する相談を実施し、その希望に応じた就業の機会を提供する団体を育成し、その他その就業の機会の確保のために必要な措置を講ずるよう努めることとされている。札幌市は国と協調して、札幌市シルバー人材センターに運営に係る補助金を交付している。											
	事業内容(何を実施し)		札幌市シルバー人材センターは、高齢者が就労を通じた社会参加により、生きがいの充実と健康の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに貢献することを目的として設立された団体である。当該団体は働く意欲のある高齢者が会員となり、会員からの会費や、地域社会からの臨時的・短期的・軽易な業務の受託に係る手数料のほか、国及び札幌市からの補助金により運営しているところである。本事業は当該運営に係る補助金を札幌市シルバー人材センターに交付するものであり、令和5年度は35, 000千円を当該団体に交付した。											
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)		札幌市シルバー人材センターの安定的な運営を通じて、高齢者の就業機会を確保し、生きがいの充実と健康の増進を図る。											
	他都市の状況		政令指定都市を始めとして、国から補助金を交付されているシルバー人材センターを設置している全ての市町村は、札幌市と同様に運営に係る経費等の一部を補助している。											
	市民参加の実施		□ 企画 □ 実施 ■ 評価 □ 対象外											
令和4年度決算額		43,696 千円		うち特定財源		0 千円		正規職員業務量		0.14 人工				
令和5年度予算額		35,000 千円		うち特定財源		0 千円		正規職員業務量		0.14 人工				
令和5年度決算額		35,000 千円		うち特定財源		0 千円		正規職員業務量		0.14 人工				
令和6年度予算額		35,000 千円		うち特定財源		0 千円		正規職員業務量		0.14 人工				
指標	アウトプット活動指標1		年間受注額(単位:百万円)				という活動、業務を行うことで							
			令和4年度実績		令和5年度予定		令和5年度実績		令和6年度予定		令和7年度予定		令和8年度予定	
			1,254		1,263		1,247		1,272		1,282		1,291	
	↓													
	アウトカム成果指標1		会員数(単位:人)				という状態にしたい、成果を挙げたい							
			令和4年度実績		令和5年度予定		令和5年度実績		令和6年度予定		令和7年度予定		令和8年度予定	
			3,502		3,562		3,403		3,621		3,681		3,740	
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方		加齢や病気等の不安からの会員退会、一般家庭から受注シェアが高い業務等が伸び悩み、目標未達。一方、出張入会相談窓口等の開催により新規入会数増のほか、他業務で受注増の傾向にあり、取組を継続する。											
	アウトプット活動指標2						という活動、業務を行うことで							
			令和4年度実績		令和5年度予定		令和5年度実績		令和6年度予定		令和7年度予定		令和8年度予定	
	↓													
アウトカム成果指標2						という状態にしたい、成果を挙げたい								
		令和4年度実績		令和5年度予定		令和5年度実績		令和6年度予定		令和7年度予定		令和8年度予定		
指標2の評価、未達理由、今後の考え方														
今年度の見直し内容		なし												
来年度以降の方向性		引き続き、高齢者が就労を通じた社会参加により、自らの生きがいの充実と健康の増進を図ることを目的に、札幌市シルバー人材センターに国と協調して補助金を交付する。												